

警城時報

日刊 夕 廿四

石城新聞社編輯部
印刷部
社址：石城郡平町
電話：二四八
代印部：石城郡平町
電話：二四八
電話：二四八
電話：二四八
電話：二四八

野崎、若松兩候補等

田子派から告訴せる

木田織江氏親子の對質訊問 時節柄その成行きを注視する

平區裁判所選出選挙は二十三日片岡書記を随へて平警署に出張、民政派の木田織江、志賀猪之松、赤津亦太郎三氏を召喚し夕刻まで階上一室に於て嚴重なる取調を行つた事昨報の如くであるが、召喚取調をうけた事件の内容を精査するに、大体左の如き事實が判明した。

木田氏名義の葉書と

若松氏の演説が問題

田子派告訴の理由

石城民政派の長老木田織江、志賀猪之松、赤津亦太郎三氏等は、最初中立候補者田子健吉氏の推薦状を配布した外同様意味の推薦状を配布した。最近に至り木田織江氏の名義で「私が恰かも田子氏を推薦せしむる者あるも右は爲にせんとするもの、悪意なるべし、迷はぬやう若松美三氏に投票を願ひます」との意味の葉書を配布したので、右の如き文面は自分の書いたものではないとの事であつた。又若松美三氏は去る廿一日日小川村の演説會に於て「木田織江氏は田子健吉氏を推薦せしむる事なく野崎滿藏氏に投票して下さい」との意味の葉書を配布し同時に「私が田子氏を推薦する如く、又二十一日夜平町平劇場で、又二十一日夜平町平劇場で、私が田子氏を推薦する如く、廣開いた野崎滿藏氏の演説會に於

當選妨害た

田子健吉氏談

「私が縣會議員に立つたのは、最初から木田織江氏を當てにして氏の有する信用を背景とし計画をたてた。然るに突如として野崎滿藏、若松美三兩氏から、かゝる書状や、宣傳をされたので私の計劃は根柢から覆された。有権者に対しは私の人格、信用を落した事は憤慨に堪へぬ。木田織江氏は立候補以來私の事務所、

依頼された

民政派幹部談

「又告訴事件に關して民政派幹部は語る。民政派の野崎、若松兩氏は今回の問題になつた木田織江氏名義の書状を配布したり、演説したり、別々に大した問題にしてゐない。又告訴事件に關して民政派幹部は語る。民政派の野崎、若松兩氏は今回の問題になつた木田織江氏名義の書状を配布したり、演説したり、別々に大した問題にしてゐない。

窪田検事の前で

木田親子の對質訊問

窪田検事は木田織江氏と息剛氏を對質訊問するに當り、相違あるので二十三日午後木田親子の外剛氏を召喚し木田親子の對質訊問を行つた。木田織江氏は「私は田子、野崎、若松三氏とも推薦する事を承諾しました」と陳述し、剛氏は又「父は田子氏を推薦する確答は與へず、調査にのみ推薦したと言つた」と陳述したとの事である。

當面の人

善後策協議

木田織江氏等が別項の如く平警署の取調を受けた事について、木田織江、木田剛、志賀亥之、松、渡邊辰次、佐藤仲次各氏は二十三日夜平町平市屋旅館に會合し善後策について協議したと言はれてゐる。

双方に承諾した

木田織江氏談

「二十三日平警署に召喚された木田織江氏は語る。自分は民政派野崎、若松兩君に對し推薦状を出したが、これは忘れぬやうに持参して貰ひ度いと役場吏員は語つた。

政戦の幕は閉とれ 投票明日に迫る

各候補の情勢如何

石城郡に於ける縣會議員候補者願する苦戦を傳へられてゐたが、十一名が出馬の名乗りをあげて井上氏は唯一の武器である言論以來茲に三旬、火花を散らしたを以て熱心奮闘したのと、又有政戦も限りで最後の幕は閉力なる釜屋主人諸橋守次、警城の運命を決す可き投票日にて應援あり、且つ又平町民で井上の選挙で新有権者の歸趨全く豫測されず各候補者の形勢全く混迷せしめては平町の恥辱である。各地の情勢を綜合した目下の形勢を候補者別に記して見やう。

鈴木辰三郎氏

政友派の鈴木辰三郎氏は既に四年前からの効果空しくならず、立候補以來鈴木氏の應援者郡内各所に現はれ、行くどて可なりたる處なき優勢あり、殊に居村夏井村を始め高久、豊間、江名等は民政派の投票は多少野崎滿藏氏等に傾食さるゝ事は明らかであるが殆んど絶對地盤と稱すべき程でこの外有力なる平町、好間村等の地盤あり、又内郷、警署等炭礦方面の得票も相當多數に達するらしく鈴木氏はその他各町村から多少宛の投票を集め得る事が第一の強味と言ふ可、傳ふる處によれば確票既に四千五百票に達した等と噂されてゐる程で最高點の當選は恐らく鈴木辰三郎氏の頭上、落るではないかと言はれてゐる。

古川傳一氏

政友派古川傳一氏は地の利を得てゐる關係で最初鈴木辰三郎氏と同様優勢を傳へられてゐたが、中途に至り優勢なりこの觀察は全く皮相なものであるが判明し俄かに言論戦其他、猛烈な運動を開始したが、同じく郡南から立候補した民政派の政友派井上茂作氏は立候補以來

井上茂作氏

政友派井上茂作氏は立候補以來

清昇氏は全く猛烈な運動を續けてゐた。古川氏はその勢力を盛りに非なる困難を感じた。又其他各候補者も相當の方面に視線を向けひそかに暗中躍躍を行つた。古川氏の地盤は蠶食され、事影しく、この数日その回復運動に死力を盡した結果今日に至つて、之亦當選点を豫想し得るに至つた由である。

山崎吉平氏

政友派山崎吉平氏は屢報の如く絶對地盤と稱するが僅か飯野村あるのみでその他は郡内から散票を集めねばならぬ不利な立場にあり立候補以來今日まで絶えず苦戦を續けて来たが、氏は人格圓滿、穩健着實で辯舌こそは巧みではないが實行の人で私慾に薄いと云ふ点で信用あり、參與せしめたいといふ應援者が相當多數あり、その熱烈なる同情によつて最近稍々樂觀し得る状態になつたとの事である。尙ほ山崎氏のために二十四日松崎松治、小野和七、吉田禮次郎、佐藤作平、大峰庫、山崎與三郎、永山和乎、馬目雄次郎、山田盤氏、眞木桓、堀江正直、木村守江、加藤丈夫、草野七五三之助、鯨岡久一郎、小濱長太郎各氏は左の如き推薦状を配布した。

- 高潔ノ山崎吉平氏危シ各位ノ御同情ヲ乞フ
- 一、清藤潔白ノ山崎吉平氏
- 一、勇往邁進ノ山崎吉平氏
- 一、熱心方ノ山崎吉平氏
- 一、腕ノ人山崎吉平氏
- 一、不言實行ノ山崎吉平氏
- 一、信念ノ確固不拔ノ山崎吉平氏

若松美三氏

民政派若松美三氏は何と言つても民政派の元老株でその地盤として往年田子英吉氏等と共に築きあげた三阪、澤渡、川前、小川、永戸等山の各方面の絶對地盤あり最初から形勢頗る良好で、前記絶對地盤の外黨の元老株だといふための全部各町村から相當の得票を豫想し得る。有利な立場にあり、民政派に於ては勿論政友派各候補者を凌駕する多數得票に達するのではないかと想像されてゐるが、この想像は決して無理のない事である。

野崎滿藏氏

民政派野崎滿藏氏は平町を中心として片濱通りから立候補した唯一人の候補者で相當地の利を得てゐるわけであるが、若松美三氏に比較するとその勢力遙かに劣つてゐる。平町は數名の候補者が掻き廻してゐるため野崎永山和乎、馬目雄次郎、山田盤氏に赴く投票は案外少ないと見鷹、眞木桓、堀江正直、木村守江、加藤丈夫、草野七五三之助、鯨岡久一郎、小濱長太郎各氏は草野方部は田子氏等の勢力強く相當信頼し得るの炭礦方面の投票であるらしいが、亦纏つたものでなく寧ろ散票と見るべきであらうから氏は決して樂觀は出来ぬ候補者と言ふべきであらう。

鷺清昇氏

民政派鷺清昇氏は最初、大平陸

四郎、赤津亦太郎氏等と反目し外には關係の少い青沼氏現在の立場は殆んど孤立無援の苦境にあると言はれてゐる。

田子健吉氏

中立田子健吉氏は、田子英吉翁の光りて山の手方面に勢力あり又上遠野方面にも縁故關係で得票を豫想され大浦、草野方面は同氏の事務長芳賀保三郎氏の手之亦少なからぬ得票あり、その他の各町村は同氏の熱心に行つた演説を聞いて感激してゐるもの少なからず散票も相當あり運動をなしたため青沼氏の得票見込みで當選圏内の人に數へら思ふやうに達せず、炭礦方面に

青沼鋒太郎氏

中立候補者青沼鋒太郎氏は五大炭礦約四千の有権者を背景とし立候補したが、炭礦方面は各候補者が種々な手藝を求めても少なからず散票も相當あり運動をなしたため青沼氏の得票見込みで當選圏内の人に數へら思ふやうに達せず、炭礦方面に

三四千票の差で

政友大勝せん

血みどろに塗れた政戦も漸やく四千票の大差を以て政友大勝に終りを告げ愈々今日の日に直前期するであらう。した石城縣議選舉も翌二十六日の開票の結果が果してどんな局面に展開するものやら頗る興味深い問題であるが、別項の如く一般豫想より推斷するに定員六名中四對二で政友の大勝に期する事が當然と観るべきであるが兎もするに舊菊田方部に行はれた如き非常手段を以て常套とせざる派では形勢不利と見れば最後の手段に訴へぬとも限らぬので若しさうなれば三對三の結果を來す事になるとして政友派に於ては極力警戒に努めてゐる。尙ほ今回の得票は最高が四千五百内外、最低が二千七八百位で當選圏内に入れるもの、如く少なくとも第三位までは政友派の手に歸するらしくも觀測されるから總得票數の上から見ても三

普選最初の縣會議員候補者として終始一貫普選に盡力した

野崎滿藏氏を

推薦す。地方各位の御同情を乞ふ

平町 南町

山野邊義政

驚いた!!!
こうまで安いとは
加納活版所の印刷物!!

秋	子供帽子
冬	鳥打帽子
案	中折帽子
子	御好品を澤山
取	取揃へました
ツルヤ	平

最後の御決心!!!

親愛なる町民諸君
公明正大なる民衆の味方
井ノウヘ モ サク

井上茂作

どうして見殺しに出来ませう
平町民協力一致!
萬障を排して貴下の一票を御同情願ます
平町五丁目九 諸橋 守次

推薦廣告

普選初頭の縣議戰に當り、我國現下の時局に鑑み、石城將來の發展を想ふ秋、敢て余は茲に左の六名を推薦し、極力その當選を祈る。

推薦者 平町 荒川 精一

井上茂作君
山崎吉平君
鈴木辰三君
古川傳一郎君
青沼鋒太郎君
田子健吉君

推薦廣告

有権者の希望すべき
縣會議員候補者として

推薦者 平町 田町 佐藤 久 吾

山崎吉平君を推薦す
極力其の當選を期す